

奨学金を用いた“育てて迎える採用”

歯科衛生士 “採用難”時代の突破口

講師プロフィール

愛知県名古屋市で開業し、わずか5年でユニット16台・歯科衛生士20名超の体制に成長。開業以来、**歯科衛生士の離職率0%**という稀有な組織づくりを実現。

現在は深刻化する歯科衛生士学校の定員割れ問題を改善すべく全国で講義や特別授業を行い、「**育てて迎える採用モデル**」と「**奨学金を用いた育成システム**」を広め、地域の歯科医院と学校、医療の未来をつなぐ活動に取り組んでいる。



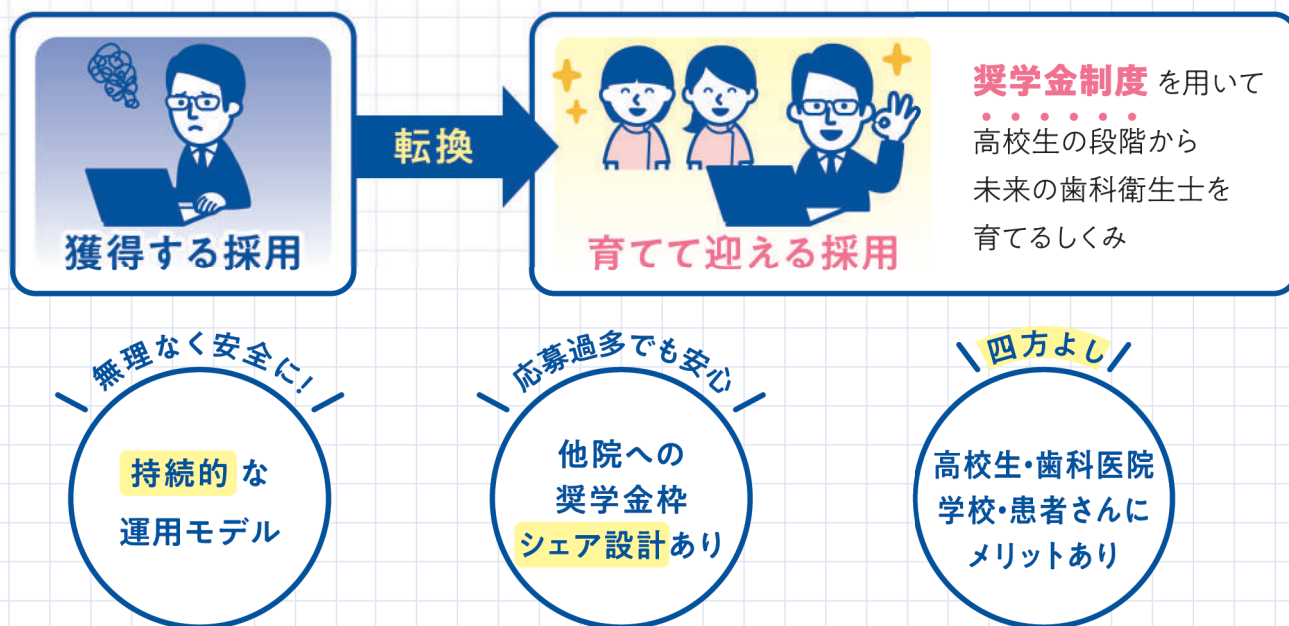
医療法人community health builders 理事長
押村 憲昭 (おしむらのりあき)

待遇で比較されがちな時代だからこそ

“育てて迎える”という新しい採用の形を選ぶ

全国的な歯科衛生士不足が深刻化し、学校の定員割れや閉校が進む中、歯科医院数は増加し有効求人倍率は24倍超え。応募が来ない状況が常態化しています。

中規模医院は大手と待遇で競ってきましたが、今後も同じ土俵で戦うのは現実的ではありません。そこで重要となるのが**“育てて迎える採用”**です。



**未来の衛生士を“迎える”ための第一歩を
このセミナーでつかんでください！**

1章 歯科衛生士不足の本質と環境変化

- ・全国の学校で起きている定員割れの現実
- ・歯科医院数の増加と異常な求人倍率
- ・求人広告が機能しづらくなった背景
- ・中小医院が“待遇競争”に向かない構造

2章 奨学金を用いた“育てて迎える採用”とは

- ・奨学金制度が時代にフィットする理由
- ・よくある誤解と正しい導入ステップ
- ・小規模でも始められる“返還免除型”運用方法
- ・高校生アプローチの最適設計
- ・保護者が安心できる説明方法
- ・応募過多時の“他院への奨学金枠シェア”設計

3章 歯科衛生士学校との関係構築とバイト受け入れ

- ・学校が学生を送り出す医院の特徴
- ・バイト期間が就職の育成期間になる理由
- ・学校との信頼構築が長期的採用を支える
- ・学生アルバイトの受け入れ準備と導入ポイント
- ・“声をかけなくても選ばれる医院”の作り方

4章 JASSO(日本学生支援機構)のハイブリット活用法

- ・医院単独奨学金の課題と限界
- ・負担額の現実とシュミレーション
- ・JASSOとの併用で生まれる“低負担型モデル”
- ・トラブルを防ぐ契約・運用の注意点

5章 明日から始められる“育成型採用”の実行計画

- ・今日決めるべきこと
- ・来月から準備すること
- ・来年度の募集に合わせた逆算スケジュール
- ・奨学金制度を医院の“ブランド価値”に変える方法

リアルなお悩み
学生さんの
進学を希望する

私は歯科衛生士として患者さんの健康を支えたい強い思いがある一方、家庭の事情で学費負担が難しく進学を諦めかけておりました。

そんな中で貴院の歯科衛生士奨学金制度を知り、ぜひ応募したいと思いご連絡いたしました。制度の詳細についてお伺いできれば幸いです。将来は貴院の理念のもと成長し、地域に貢献できる歯科衛生士を目指しております。



セミナー詳細

日時

2026年2月11日(水)
13:00～16:00

場所

TKP 東京駅カンファレンスセンター
JR 東京駅 八重洲中央口から徒歩1分

費用

50,000円(税別) 1医院2名まで
(オンラインチケットあり)

主催

メディカルサポートパートナー株式会社 山本 裕次郎
Mail info@medical-sp.com / web https://www.dh-shogakukin.com/

特別ゲストです!



おぐらよしひろ
小倉 芳裕さん

学校法人小倉学園
新宿医療専門学校 校長

- ・今の時代の歯科衛生士が職場に求めるものとは?
- ・学生の経済状態のリアル



よしだまのる
吉田 実さん

株式会社コムネット 取締役
今井田尚久税理士事務所 統括
株式会社WIEコンサルティング事業部 代表パートナー

- ・奨学金制度は出資法違反になるか?
- ・奨学金制度導入には税金と銀行取引の落とし穴に注意!

お申込み
はこちら▶

